

## アジア石油化学工業会議（APIC2018・マレーシア大会）開催結果について

石油化学工業協会

APIC2018・マレーシア大会の開催結果につきまして、以下のとおり報告致します。

1. 開催日程／都市：2018年8月20日（月）21日（火）／クアラルンプール
2. 会場：Kuala Lumpur Convention Centre
3. 主催：マレーシア石油化学協会（MPA）
4. テーマ：**“Creating Value through Collaboration”**  
「コラボレーションによる新たな価値の創造」
5. 参加登録者数：2,011名 ※過去最高の記録 \*招待者・登壇者含む  
(内訳：マレーシア 715名、シンガポール 236名、日本 199名)
6. 概要：

### <1日目> ケミカル・マーケティングセミナー

主要な情報分析企業と産業界代表による対話形式のテーマ別セミナー

- ① IHS マーケット & ペトロナス・ケミカル
- ② ネクサント & ロッテケミカル／タイタン
- ③ アーガス & リライアンス
- ④ テクノン・オービケム & CNCIC（中国国家化学情報センター）
- ⑤ 登壇者による座談会

### <2日目> 総合会議

#### ① MPAのアクバル・タイウーブ会長による歓迎スピーチ（要旨）

- ・APIC2018の「コラボレーションによる新たな価値の創造」というテーマの下、国際的なパートナーシップを強化し、市場を深く理解する事で、単なる生産品の供給者からソリューション・プロバイダーへと変貌する事が出来る。
  - ・マレーシアの石化産業はアジアという成長著しい地域でのアドバンテージを生かし、生産能力を大幅に拡大し、これまでの輸入依存から輸出主導に成長し、政府とのコラボレーションを通じて長期的な競争力を獲得しつつある。
- 上記趣旨のスピーチと共に、マレーシア協会として初めて作成したデジタル・ハンドブックの紹介があった。また、APIC2018の参加登録者が2,000人を超え、記録的な人数となり、参加者全体で4,000人以上に達したと述べた。



MPA アカバル・タイーブ 会長



JPCA 森川 会長

## ② APIC6 協会の各会長によるオープニングアドレス

### 【石化協 JPCA 森川会長】(要旨)

- ・日本の石油化学産業は安定的に成長している。今後も持続的な成長をして行くためには石化を含む社会全体が、i) 製造段階 ii) 製品段階 iii) 使用済み製品段階という3つのステージでの安全と環境への配慮をすべきである。
- ・石油化学産業がイノベーションを通じて解決策を提示すべき具体例として、SDGsの第14項目に関連する海洋プラスチックごみやマイクロプラスチック問題がある。
- ・残念ながらアジアのプラスチックごみの海洋投棄量は世界一といわれており、この問題を解決するため、これまで蓄積して来た日本の知見とベストプラクティスを共有することで持続可能な社会の実現に向けた多国間の協力関係に貢献したい。

---その他の各国協会の会長のオープニングアドレスのポイントは以下のとおり。

### 【韓国 KPIA】

- ・世界で台頭しつつある保護主義に断固反対する。自由貿易こそがアジアの石化産業の利益になる、と強調。

### 【台湾 PIAT】

- ・用益不足や環境問題から台湾政府は海外投資を奨励・強化している。「新南向政策」によって ASEAN、南アジア諸国、オーストラリア、ニュージーランド等とコラボレートし、この地域の18カ国と長期的な協力関係を築き、皆で利益を享受して行きたい。

### 【タイ FTIPC】

- i) 政府と民間とのコラボが重要。タイの「東方経済回廊」開発計画が良い例。
- ii) 地球保護のためのコラボが重要。「循環経済」に向け、製造段階の廃棄物や廃水から新技術によって地球を守ることが必要。特に海洋ゴミの問題が大きな課題。

### 【シンガポール SCIC】

・気候変動の問題に取り組んでいる。また、プラスチックごみ、特に海洋ゴミの議論が近年盛んになってきており、更にこれらの問題にも取り組んでいく必要がある。

### 【インド CPMA】

・インド経済と石油化学産業は顕著な拡大をしており、2017年に世界最大のオフガス・クラッカーがジャムナガールで稼働開始し、2.6MMtのエチレンと2MMtのポリエチレンの能力が加わり、今後更なる拡大投資のチャンスが国内外にある。



APIC 7 協会代表

### ③ ペトロナスのタンスリ・ワン社長による特別講演（要旨）

- ・世界の人口増加と経済成長の中心はアジアパシフィック地域であり、安価な US シェールオイル・ガスの拡大やインド、中国、インドネシアのコンプレックス統合モデルによる拡大に対抗していくにはスペシャリティ化が有効である。
- ・海洋プラスチックごみの問題は深刻で世界的に展開するコーヒー店やファーストフード店でプラスチックストローの禁止やプラスチック袋の禁止の動きがある。
- ・石油化学の供給が拡大する一方で 45%の消費者が環境に優しい製品を求めており、そのうちの 65%はそれに伴うプレミアムの支払いを厭わないという調査結果がある。
- ・政府や大学、企業や協会と連携し、産業の垣根を越えて環境に適した製品の開発に邁進していくべきである。

### ④ RAPID プロジェクトのビデオのデモンストレーション

### ⑤ マレーシア国際貿易産業省オン・キアンミン副大臣による基調講演（要旨）

- 今日のさまざまな課題を解決するには過去の手法は通用しない。マレーシア政府は自由貿易を支持し、企業とコラボレートしてマレーシアを石化のハブとして USA や中国への輸出基地にして高成長を後押しして行く。
- 明日へのチャンスは APIC2018 のテーマと同じく石油化学の上流と下流のコラボレーションによるバリューチェーンの構築が重要。マレーシアには特に下流の革新的製品の製造が必要である。これにより、APIC でも再三問題視されている使い捨てプ

ラスチックではなく、長期使用に耐えるプラスチックによるバリューチェーンが構築できる。

iii) 国際的パートナーシップ／コラボレーションが重要。RAPID プロジェクトのサウジ・アラムコとペトロナスの石化コンプレックスが好例であり、APIC の参加者達にも是非参加して欲しい。

⑥ エグゼクティブ・フォーラム・セッション

リライアンスのヴィプル・シャークー副社長&COO と、ペトロナスの誘導品部門のダツーク・アリフマームード副社長&CEO がそれぞれの企業で実践する「コラボレーションによる新たな価値の創造」についてのプレゼンテーション交歓を行った。

⑦ 8 分科会

i 共通問題・原料    ii ポリオレフィン    iii スチレン    iv 塩ビ    v 合成ゴム  
vi 合成繊維原料    vii 化成品    viii 環境

※環境分科会ではプラスチック・リサイクルの問題を中心に石化産業の執るべき環境対策が議論された模様。

⑧ フェアウェルパーティー

次回開催地が台北で期間が 2019 年 5 月 16 日（木）17 日（金）と発表された。



フェアウェルパーティー

以 上